

全日本学生馬術大会 2025

第 75 回全日本学生賞典障害馬術競技大会
第 68 回全日本学生賞典馬場馬術競技大会
第 68 回全日本学生賞典総合馬術競技大会

- 1 主 催 一般社団法人全日本学生馬術連盟
- 2 共 催 一般社団法人大学スポーツ協会
- 3 後 援 アイルランド大使館 日本中央競馬会
地方競馬全国協会 兵庫県 三木市 日本放送協会 毎日新聞社
報知新聞社 (予定)
- 4 協 賛 公益財団法人 三木山人と馬とのふれあいの森協会
株式会社日本馬事普及 日本農産工業株式会社
(一財) 馬事畜産会館 日本社会人団体馬術連盟
Rubes japan 株式会社 C3.Photography (有) 東明工芸
NPO 法人日本乗馬普及協会 (予定)
- 5 協 力 関西学生馬術連盟
- 6 期 日 令和 7 年 10 月 29 日 (水) ～11 月 3 日 (月・祝)
- 7 会 場 兵庫県三木市別所高木 三木ホースランドパーク
- 8 実施内容 全日本学生馬術競技会規程Ⅰ、Ⅱ及びⅢを適用する。
- 9 日 程
10 月 27 日 (月) 入厩 (以降各出場予定競技実施前日の入厩審査締切時間まで)
10 月 29 日 (水) トレーニング競技 (障害) 開会式
10 月 30 日 (木) 賞典障害馬術競技大会 (第 1 ラウンド) M・D 障害馬術競技大会
10 月 31 日 (金) 賞典障害馬術競技大会 (第 2 ラウンド) 第 3 課目 A 馬場馬術競技大会
11 月 1 日 (土) 賞典馬場馬術競技大会 (団体)
賞典総合馬術競技大会 (インスペクション)
11 月 2 日 (日) 賞典馬場馬術競技大会 (個人決勝)
賞典総合馬術競技大会 (馬場馬術競技)
11 月 3 日 (月・祝) 賞典総合馬術競技大会 (クロスカンントリー競技、障害馬術競技)
閉会式

10 競技会規程 一般社団法人全日本学生馬術連盟競技会規程による。

但し、

- すべての騎乗者は騎乗時にメディカルカードを携帯する事。
- 馬取り扱い時は保護帽を着用する事。
- 賞典馬場馬術競技大会、第3課目A馬場馬術競技大会に出場する際の、サドルパッド（鞍下ゼッケン）の色は任意とする。
- クロスカントリー固定障害飛越時は認証ボディプロテクターの着用、メディカルカードを携帯し、エアバックベストの使用はこれを推奨する。尚、本年迄の経過措置として認証ボディプロテクターを着用しない場合は、ボディプロテクター及びエアバックベスト、両方の着用を義務づける。
- 総合馬術競技会：クロスカントリー競技・障害馬術競技は日本馬術連盟公認競技EV95に準ずる。
- 第14条、第19条、第26条（大会期間中の騎乗者制限）について本年は適用しないが登録部員外騎乗許可申請書を提出し許可を得た者のみ騎乗可とする。但し、競技当日（トレーニング競技日は除く）の騎乗は許可しない。又、騎乗可能エリアは指定するのでそれに従う事。
- MD 障害はJEF 規程 274 条 2(特別二段階)で行なう。
- 賞典馬場個人決勝において録音利用明細書、および音源のCDを期限内に提出しない場合、出場を認めない。
- エントリー時に登録された人馬内で競技前最終エントリー時に変更は可とする。
- 予備馬の入厩は、賞典総合馬術競技のみ1頭まで認める。それ以外は認めない。
- 総合競技予備馬もトレーニング競技に参加出来る。
- 障害競技、馬場競技においては、当日出場前に棄権の場合、失権点を課し団体成績としてカウントできる。
- 総合競技においてはファーストインスペクション時失権でも失権点を課し団体成績としてカウント出来る。

11 参加申込

各地区連盟（協会）は、事前に電子データにて提出の上、必要な書類を添付して当連盟に紙媒体で申し込むこと。尚、各参加校は各競技参加枠数の、それぞれ2倍まで人馬登録することが出来る。

ただし、クオリファイの必要な競技においては、クオリファイのある人馬に限る。

締切後の出場人馬変更は登録人馬でのみ可。

一次締め切り：令和7年9月24日（水）

※但し、登録内容の変更については、10月5日（日）まで認める。

最終締め切り：令和7年10月5日（日）（紙媒体含み、必着）

【一次締切(大学→各地区幹事長)・二次締切(地区幹事長→全日本学生馬術連盟)】

- (1) 各種目1人馬あたり **6,000円**とする。

参加料は、令和7年10月5日（日）までに各参加校にて銀行振込にて納入すること。なお、納入後の返金には応じない。

※厩舎使用料及び納入方法については後日連絡する。

振込先：三井住友銀行 京橋支店 普通 8609354

一般社団法人全日本学生馬術連盟 理事長 橋本 茂

- (2) トレーニング競技の参加料は、1 走行あたり **6,000 円**とする。
- (3) 参加料は、後日速やかに銀行振込にて、上記振込先に納入のこと。

賞典馬場馬術競技大会において、個人決勝（キュア）に出場する意思のある選手は、当連盟ホームページから録音利用明細書をダウンロードし、令和7年10月5日（日）までに、直接、当連盟にメールにて提出すること。また、楽曲を録音したCDを、入厩時に大会本部に提出のこと。楽曲使用の費用（年間で一律 8,000 円）は競技会終了後に JASRAC の審査ののち、あらためて該当者に請求する。

※録音利用明細書、および音源の CD を期限内に提出しない場合、賞典馬場個人決勝出場を認めない。

1 2 トレーニング競技について

- (1) トレーニング競技はトレーニング競技Ⅰ（高さ 110-130cm）、トレーニング競技Ⅱ（高さ 90-110cm）の 2 種目とし、トレーニング競技Ⅰを先に実施する。本競技への参加及びクラス選択は任意である。
- (2) 本競技には障害馬術競技総合馬術競技出場予定馬のみが出場できる。
- (3) トレーニング競技のエントリーは前日の指定された時間までに大会本部の指定する宛先まで電子データにて提出のこと。提出方法は別途連絡する。
- (4) 出場選手は、全日本学生馬術連盟登録学生のみとする。
- (5) 馬匹は、本競技Ⅰ・Ⅱを通して、1 頭につき 2 走行まで出場できる。2 走行を超えない範囲で、走行後の追加・変更（クラスの変更、選手の変更）を認める。追加においては選手の乗り替わりを可とする。前日にエントリーしていない馬匹を追加することはできない。
- (6) 実施方法：走行開始許可のベルが鳴った後、90 秒間飛越可とする。飛越の順番及び方向は任意であるが、標旗が設置されている障害はその方向に従うこと。飛越および拒否に伴い落下させた障害は原則、復旧・移動はしない。落馬・馬の転倒・逆標旗飛越・その他審判団が危険走行を認めた場合は、走行終了となる。
- (7) 意図的あるいは重大な不注意による諸規則の侵害や違反行為があった場合、審判団の判断によりその後の競技に出場停止処分とする場合がある。特に走行終了のベルが鳴った場合は速やかに走行を終了すること。やむを得ないと判断された場合を除き、ベル後の飛越は制裁の対象となる。

1 3 防疫・入厩・退厩 ※別紙【入厩にあたっての注意】参照の事

- (1) 10 月 27 日（月）入厩開始 **※これより前に入厩希望の北海道地区は応相談**以降、各出場予定競技実施前日の入厩審査締切時間までに入厩すること。
但し、総合競技出場馬については、11/1 インспекション開始前までに入厩審査を完了していること。
- (2) 乗馬登録証・健康手帳を携帯し、入厩後速やかに大会本部に提出すること。
- (3) 入厩する馬匹はインフルエンザの予防接種が適正に行なわれていること。
- (4) 馬匹について、入厩時よりの体温チェックを行い、チェック表に記録すること。
（各大学にて馬匹用体温計を持参のこと）
- (5) **【三木ホースランドパーク入厩条件】**を満たしていること。

(リンク先：三木 HLP 入厩条件にて最新の情報を確認する事。

https://www.miki-hlp.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/06/file_n_006_v6.pdf

- (6) 退厩は各競技終了後可能とするが、競技実施中は制限することがあるので大会本部の指示に従うこと。

1 4 登録部員外騎乗

- (1) 登録部員外騎乗許可申請書は監督（自署）部分までを大学が記入の上、原則として、一次エントリー締切日（9/24）までに申請フォームに必要事項を入力し、PDFをアップロードして提出の事。

【申請フォーム】 <https://forms.gle/Gz3334aoVXyFnVev8>

- (2) 申請対象者（本人）は大会本部にて自署し識別章を受けとり、騎乗中は常に識別章を付ける事、申請書は大会本部にて印刷し・保管してある為、自身での印刷は不要。
- (3) 複数団体の馬に騎乗する場合はそれぞれ許可を受ける事。
- (4) 大会期間中も申請は受付るが確認作業の都合上速やかに許可されない可能性があるので留意する事。

1 5 その他

- (1) 当連盟は、参加者の宿舍の斡旋は行わない。
- (2) 当連盟は、馬付添人の宿舍は用意しない。
- (3) 参加大学は事故のないように十分に注意すること。本大会中の人馬の事故に対して主催者は応急処置を講ずるが、その責は負わない。

以上